

国際交流 Newsletter



編集・発行：白石市国際交流協会事務局（白石市役所まちづくり推進課内）

☎ 0224-22-1327

✉ koryu@city.shiroishi.miyagi.jp

❖ 白石市国際交流協会の活動を紹介 ❖

第 18 回 鬼小十郎まつり

『外国人向け案内デスク』を設置

2025 年 10 月 11 日（土）開催

毎年 10 月に白石城で開催される秋の一大イベント『鬼小十郎まつり』が開催され、当協会では、外国人の来場者を中心に対応できるように、会員 5 名と言語ボランティア 1 名が参加しました。

また、今年度も市内小中学生による英語ボランティア活動のサポートを行いました。あいにく雨天の中の活動になりましたが、子どもたちは習った英語のフレーズを使いながら、始めは緊張してたどたどしい様子でしたが、回数をこなすにつれ短文を暗記し、相手の顔を見て話せていました。



❖ 小中学生英語ボランティア活動 ❖

白石市英語推進委員会が行っている活動で、外国人来場者に小中学生が話しかけ、ふるさと白石をクイズ形式で紹介。児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を育成することをねらいとしています。

この小中英語ボランティアは、まつりに向けて 5 回の事前研修会を行い、この研修会には、ALT のマックス先生はじめ、協会会員・言語ボランティアも参加協力しました。

❖ 白石市外国語指導助手 (ALT) も来場し、クイズに参加してくれました！



▲クイズに参加し参加賞ゲット!!



● 外国人向け案内ボランティアデスク ●

外国の方々にもおまつりを少しでも楽しんでもらえるように、英訳したプログラムや多言語の観光パンフレットの配布、会場内の案内や問い合わせなどの対応を行っています。今年は、協会の活動内容がわかるように写真を展示しました。



● 鬼小十郎まつり ●

総勢 120 名の武者たちが繰り広げる、片倉軍（黒甲冑）対真田軍（赤甲冑）の決戦『大坂夏の陣～道明寺の戦い～』の再現が、このおまつりの見どころです。

今年は、雨天の中でしたが、すべてのイベントが予定通り実施されました。

日本の印象を聞いてみました。

◎アーネスト先生

「The most lovely people and culture」

◎サム先生

「Ancient and unchangeable!」

雨天の中でしたが、鬼小十郎まつりには初めて来たおふたり。児童生徒のみなさん、ぜひ学校で感想を聞いてみてくださいね！



2025 年度オーストラリア友好親善訪問団報告会



2025 年 8 月 21 日（木）開催@白石市防災センター

- 派遣期間：2025 年 7 月 28 日（月）～ 8 月 6 日（水）の 10 日間
- 内 容：ホームビジット、学校体験、市内見学、歴史的施設訪問
- 訪問団員：市内中学 2 年生 8 名、引率 2 名



▲大自然の中で・・・ @牧羊場

訪問団員は保護者、中学校校長、当協会の武田政春会長ら参加者を前に 1 人 2 分の持ち時間で、学校での全体発表とグループ発表、授業体験、ホストファミリー宅訪問で体験してきたことを写真や感想を交えながら報告しました。また、体験を通して生まれた将来の目標や今後の決意を発表しました。

学校体験では、「先生と生徒の関係が近くフレンドリーだった」「教室内では自由に動いていい」など、日本との違いを実感したようです。



▲解団式後の報告会



Student's Voice

なぜ、派遣団に応募しましたか？

《小学5年生のときに広報で訪問団のことを知った。それからいつか行ってみたいと思っていた》《学校での発表をきいて自分の英語力を試してみたかった》《小学6年生のときにカウラの先生たちが学校に交流しに来了。そこでたくさん話したことが忘れられずまた会いたいと思った》《日本との違いをこの目で確かめたかった》

新鮮だったことは？

《すれ違う人同士が、Hi!や How are you doing?と自然にあいさつしていた》《お店で定員さんが気さくに話しかけてくれた》《気軽にあいさつしてくれるので心が温まった》《気さくに声をかけてくれて緊張が和らいだ》

何を感じ、学びましたか？

《言葉が伝わらないということがどういうことか》《英会話のスピードが早かった》《自己主張の大切さと価値観の差や生活の差があっても受け入れ、尊重しあうことが大切》《自分のつたない英語でも丁寧に聞き取ってくれ、「あなたの言いたいことはこういうこと？」と確認してくれたり、「そのときはこう言うのもっと伝わるよ」と親切に

教えてくれたりと、優しくサポートしてくれる温かい雰囲気》《カウラ脱走事件について、日本人は捕虜になることは恥で、日本以外の国はそれを誇りであるということ》《オーストラリアが今の様に親日国になるまで、長い時間と人々の努力があった》

今後やっていきたいことは？

《学校では習わないカウラでの日本人捕虜脱走事件のことを多くの人に知ってもらえるように発信していく》《英語の勉強をもっとがんばって英検に挑戦し、自分の英語に自信を持てるようにして、もう一度オーストラリアへ行ってみたい》

未来の訪問団へアドバイスは？

《自信を持って、自らアタック！》《英語がうまく話せなくても不安に思わない》《自分がしたいことはきちんと伝える》《伝えようとする気持ちが大切》《笑顔で！》《自分から話しかけるとコミュニケーションがうまくとれるかな》

最後に・・・

みなさん、ありがとうございました!!

